

人口減少社会における持続可能な上下水道事業に関する調査

建設水道常任委員会

🔍調査の目的

人口減少等に伴う水道料金等による収入の減少や施設の老朽化及び耐震化に伴う更新需要の増大など、上下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中で、市民生活に直結する上下水道事業の持続可能かつ健全な事業経営に資するため、調査項目に決定した。

🔍調査の期間

令和7年10月～令和8年8月(委員会を13回開催)

🔍調査の手法

1 現状把握

(1) 市の担当部署から説明を聴きました(R8.1.8)

部署 上下水道局

主な内容(①及び②は下水道事業)

- ①本市事業の現状について
- ②持続可能な事業運営のための取組について
- ③【上下水道共通】今後の展望等について



(2) 現地で調査を行いました(R8.2.9)

遊休・廃止施設を現地にて確認

場所 北原污水中継ポンプ場、五十辺污水中継ポンプ場、柳町污水中継ポンプ場、
堀河町雨水滞水池、旧渡利浄水場

主な内容

①施設の概要、現況など



(3) 専門家を招いて意見を聴きました(R8.4.28)

主な内容と参考人

- ①上下水道事業の一体的な事業運営の在り方に対する見解について
- ②技術面における持続可能性の向上について
- ③市民への情報公開の重要性について

日本大学工学部 土木工学科 教授 中野 和典 氏



2 先進事例調査

(1)他市町村の取り組み状況を調査しました(R8.1.26～28)

主な内容と調査先

- ①浜松市公共下水道終末処分場(西遠処理区)運営事業について(静岡県浜松市)
- ②上下水道事業における経営健全化に向けた取組について(三重県鈴鹿市)
- ③上下水道事業サービスレベルリポートの作成 について(愛知県岡崎市)



< 浜松市 視察 >



< 鈴鹿市 視察 >



< 岡崎市 視察 >

📎 調査結果の報告

本会議で、委員長が調査の報告を行いました(R8.9.24)

[委員長報告はこちらからご覧ください。](#)



📎 議会からの政策提言

議会からの政策提言として、報告内容を取りまとめ議長から市長へ、提言書を提出しました(R8.9.24)

[提言書はこちらからご覧ください。](#)

提言内容

- ① 上下水道の一体的な事業運営による持続可能性の推進について
- ② 新たな技術や技術継承による管路の延命化及び
既存施設の外部委託等による利活用について
- ③ 上下水道の現状を市民にわかりやすく伝えることについて

